

平成31年3月現在の豚コレラとアフリカ豚コレラ情勢

- ◆豚コレラの国内発生から半年を経過し、3月に入って **新たに岐阜県及び愛知県の7農場で発生**しています。
- ◆アフリカ豚コレラも中国、モンゴル、ベトナムで発生地域の拡大が続いており、国内浸潤が懸念されます。
- ◆情勢の把握と早期発見、早期通報に努めてください。

日本国豚コレラ情勢

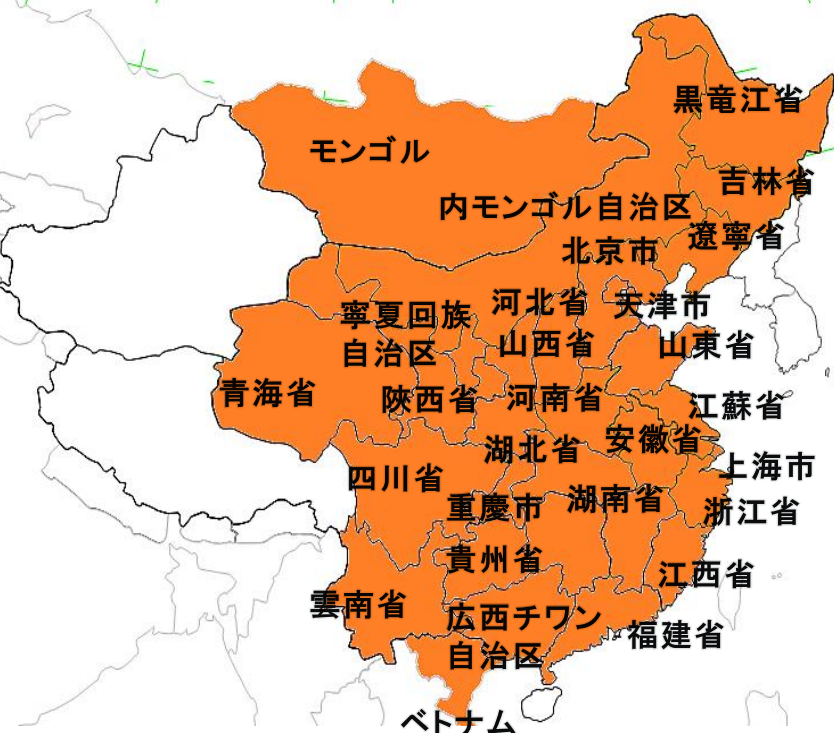
- 岐阜県の養豚農場で発生 (9/9)
- 岐阜県で死亡イノシシ初の陽性事例 (9/14)
- 愛知県で捕獲イノシシで陽性事例 (12/19)
- 愛知県の養豚農場で発生 (2/6)
この農場から別の愛知県の農場、長野県、岐阜県、滋賀県、大阪府の農場へ豚の移動に伴い発生
- 愛知県の養豚団地で発生 (2/13)

3月下旬から岐阜県、愛知県で野生いのしし用の経口ワクチンの設置が1年間を目処に開始されました



3/31現在の発生状況

41農場、2施設（関連農場施設含む）
死亡・捕獲いのしし249頭
（内訳：岐阜県236頭、愛知県13頭）



中国アフリカ豚コレラ情勢
21省、3自治区、4市
132か所 (8/3~3/21)

※中国からの旅行者が日本に持ち込んだソーセージや生餃子からアフリカ豚コレラウイルス遺伝子が次々に検出されています

モンゴルの発生状況
11農場 (1/9~)

ベトナムの発生状況
209村 (2/1~)